

## 2005年福岡県西方沖地震におけるGPS測量結果

鹿児島大学理学部  
九州大学地震火山観測研究センター  
北海道大学地震火山研究観測センター

前回に引き続きGPS観測の結果を報告する.図1に観測点配置図を国土地理院のGEONET観測点とともに示す.4月中旬に九州大学によりQUAE,FKNO,FKTOの3点が増設された.また,SKNM,NKSMは電源の不具合が生じ,4月14日,4月2日以降欠測である.解析はBERNESE Ver.5.0 BPEを用い,GEONET観測点15点を含め全24観測点を使って解析を行った.IGS精密暦を使用し,5月1日以降についてはIGS速報暦を使用した.大気伝播遅延量は1時間ごとに推定し,さらに大気伝播遅延量の勾配についても1日ごとに推定した.固定点はGEONETの950388とした.図2に6観測点の座標変化の時系列を示す.GNKI,KTZK観測点では南東方向への変位が観測されている.これは余効変動と考えられる.図3に座標変化データに直線回帰を行い求めた10日間の変動率を示す.前回のベクトル変動図に見られた東への変位は見られず一時的なものであったことが判明した.今回は志賀島の2点の西方への変位が顕著である.

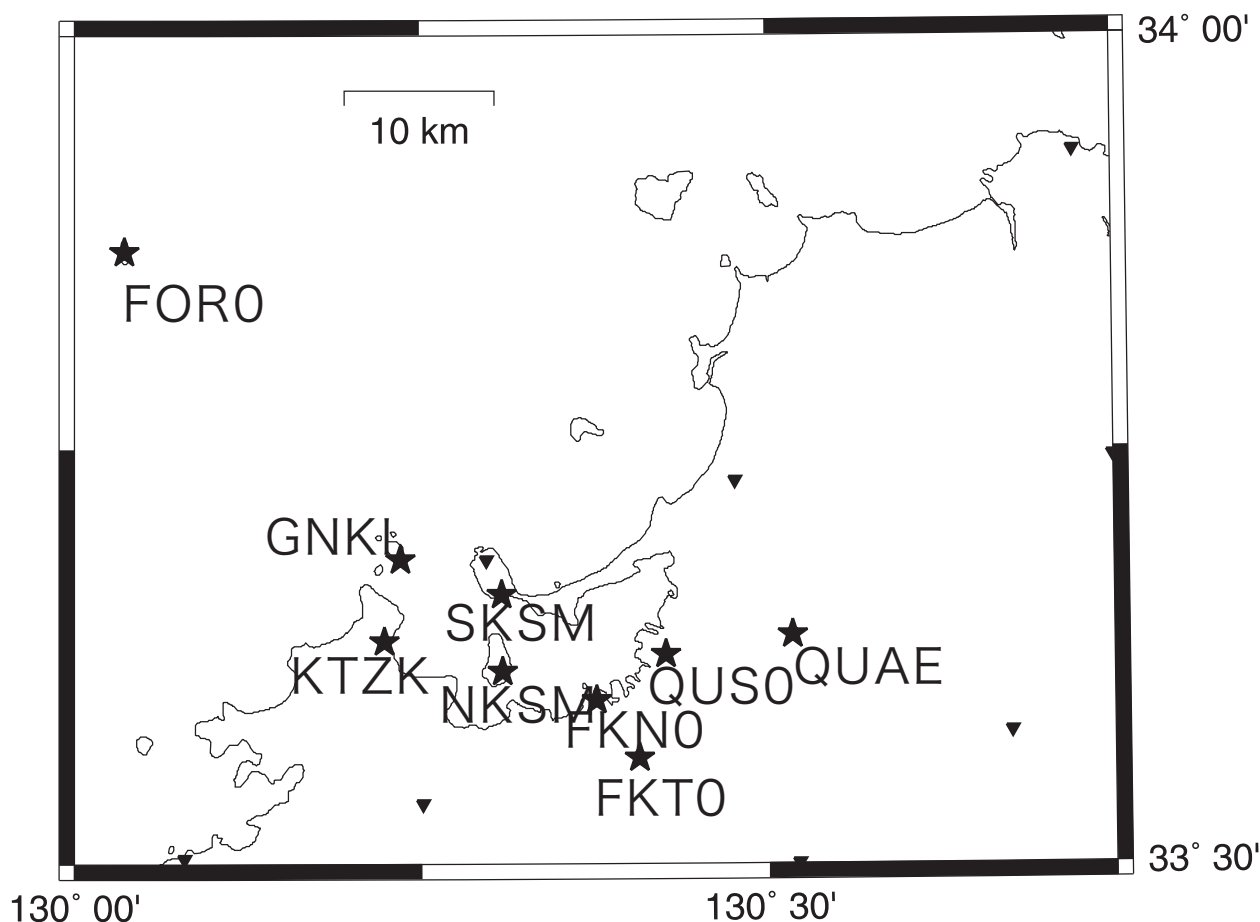


図1. GPS観測点配置図. ★:地震後設置したGPS観測点. ▼:GEONET